

平成29年度 シラバス (航海・計器B)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科(科目)	水産(航海・計器B)	単位数	1単位	学年(コース)	2学年(海洋技術コース)
使用教科書	航海・計器(海文堂出版会社 発行)				
副教材等	四級海技士(航海)800題 問題と解答				

1 学習目標

船舶を安全かつ適切に航海させるために必要な知識と技術を習得させ、実際に漁業生産に活用する能力と態度を育てる。

2 指導の重点

船舶職員(乗組員)として基本的な知識と技術が必要なことから、船舶を安全に航海させるための航海計器の取り扱いを理解させることを目指します。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	磁気コンパス	磁気コンパスの種類 構造、誤差	磁気コンパスの原理と使用方法を理解させる。	6	中間・期末考査、 レポート、小テスト
5	ジャイロコンパス	ジャイロコンパスの 利点、種類 指北原理	ジャイロコンパスの概要と原理を理解させる。		
6	中間考査 ジャイロコンパス	誤差と修正、取り扱い 方位誤差 方位測定用具	ジャイロコンパスの誤差修正と取扱いについて理解させる。	6	
7	期末考査				
9	オートパイロット	オートパイロットの 構成としくみ 調節装置、作動系統 利用される船首方位 機器	オートパイロットの調整と作動系統について理解させる。	12	
10	中間考査 ログ	使用上の注意、操作  ログの種類	ログの原理と誤差について		

11		装備と取り扱い	理解させる。		中間・期末考査、 レポート、小テ スト
12	測深器	ログの誤差	測深器の原理と使用方法に ついて理解させる。		
	船用基準時計 期末考査	船用基準時計の種類 水晶時計の構成 船用基準時計の誤差	船舶基準時計の種類と誤 差、使用法について理解さ せる。		
1 2 3	レーダ  学年末考査	教科書 プリント	レーダの原理について理解 させる。	8	期末考査、レポ ート、小テスト

計 3 2 (5 5分授業)

#### 4 課題・提出物等

適宜、課題、レポートを出します。期限までに提出するようにしてください。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
航海計器について関 心を持ち、学習を通して 意欲的に知ろうとして いる。	航海計器の原理につ いて理論的に説明でき る。	航海計器の適切な 使用ができる。	船舶を安全かつ、適切 に航海させるために必 要な基礎知識を十分理 解している。
<p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業への取組状況（授業態度、出席状況、発表、学習参加状況など）</li> <li>○提出物（レポート、プリント、ノート）の内容及び期限の厳守</li> <li>○小テスト（小単元毎）</li> <li>○定期考査（年間4回）</li> <li>○自己評価</li> </ul> <p style="text-align: right;">などから総合的に判断します。</p>			

#### 5 担当者から一言

授業に出席すること。授業をしっかりと聞くこと。ノートをとるのはもちろんのこと、重要な事と思うことはメモをとること。5級海技士から4級海技士の資格を取る上で必要な事を学びます。どれも船の操船上重要なものばかりなのでしっかりと勉強してください。

(担当 新井清久)